

厚生労働省主催 平成30年度保健師中央会議

被災地での保健師活動について



2018年 三春町の滝桜

福島県広野町 健康福祉課

松下きみ子



静岡県掛川市から福島県広野町へ

人口11万7千人の市から 5千人の町へ 掛川市写真提供



美味しい茶・きれいなお城があります。

掛川市写真提供



1 被災地で保健師として勤務することになったきっかけ

- 厚労省からの任期付保健師募集の通知※を見た時「これしかない！」
「なぜ 福島に行くの？」➡「保健師として働きたいし、働けるなら。」

※平成29年7月20日付健健発0720第2号

「東日本大震災被災地方公共団体における保健師の確保に向けた取組について(協力依頼)」

- 不安に思ったこと

- ・家族(夫)の負担
- ・保健事業
- ・全く知らない土地で一人暮らし 等々

- 今は

- ・家族も自立 離れて暮らす良さも
- ・保健師として働いている実感
- ・仲間ができた(他派遣職員や他の町の保健師ら)
- ・言葉(方言)がわからないことも



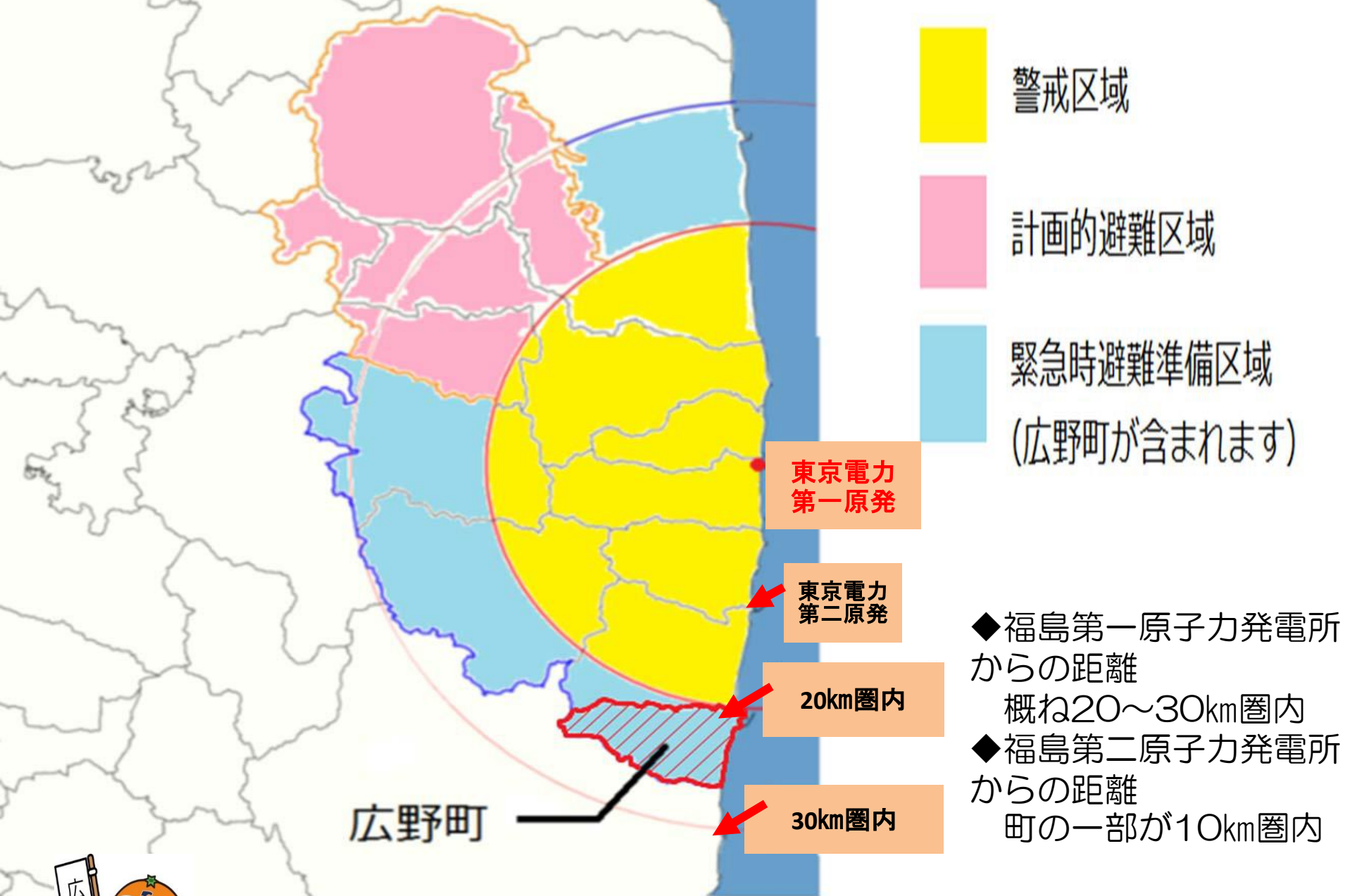
福島県双葉郡広野町



位置

- 東京都心から238 k m、宮城県仙台市から128 k m
- 福島県浜通り地方の中部、双葉郡の最も南端に位置し、東に太平洋を臨み、西に阿武隈山系、南はいわき市と北は楡葉町と隣接
- 東西13km、南北7kmの東西に長い町域
- 総面積58.69km²（掛川市 265.7km²）





広野町の震災による被害状況（人的被害）



津波による死者2名、
行方不明者1名
（震災関連死44名H29.11.30日現在）

◆震災による被害状況（物的被害公共施設）



- 道路…町道15箇所、被害額1億2800万円
- 下水…下水処理場全壊、町内管路損傷
被害額8億8900万円
- 住宅…町営住宅1棟（15戸）全壊
- 教育施設…幼稚園、小学校、中学校等
被害額1億3200万円
- 農地被災…44ha 被害額8億3800万円



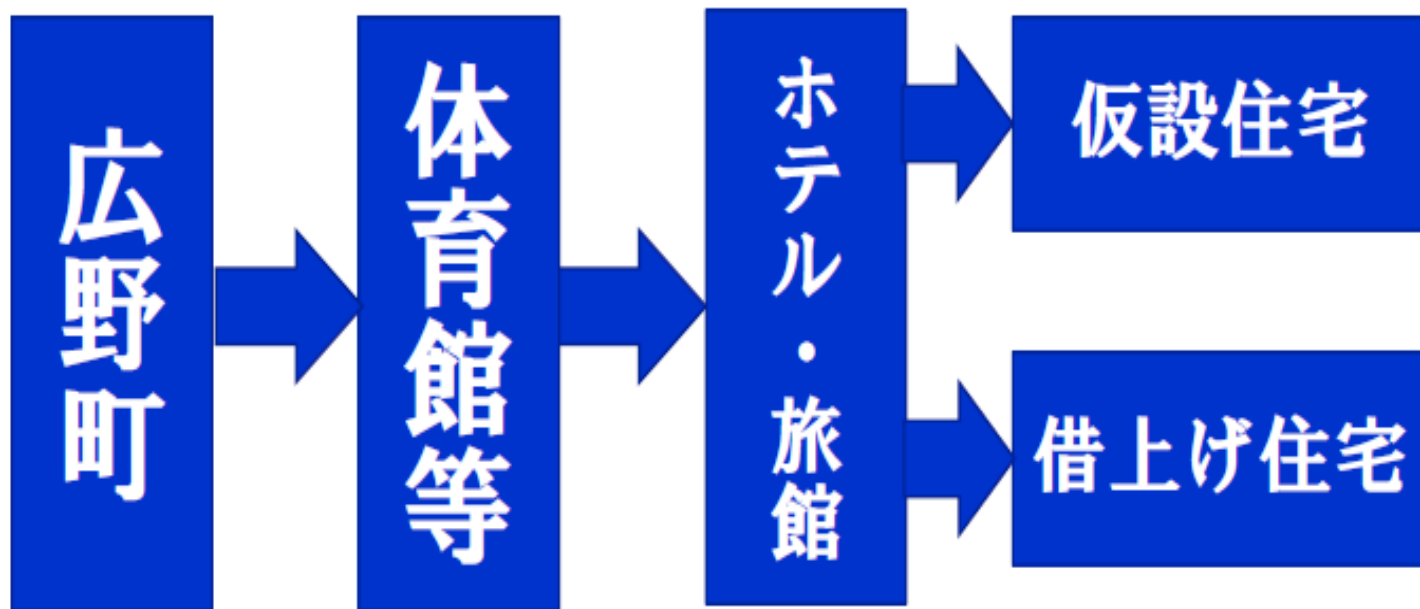
◆震災による被害状況（物的被害家屋）



全壊 113世帯
大規模半壊 39世帯
半壊 248世帯

◆震災以降の避難の流れ

一次避難 (平成23年7月末まで) 二次避難 (平成23年10月末まで) 三次避難 (平成29年3月末まで)



◆避難者の状況

緊急時避難区域解除後3か月

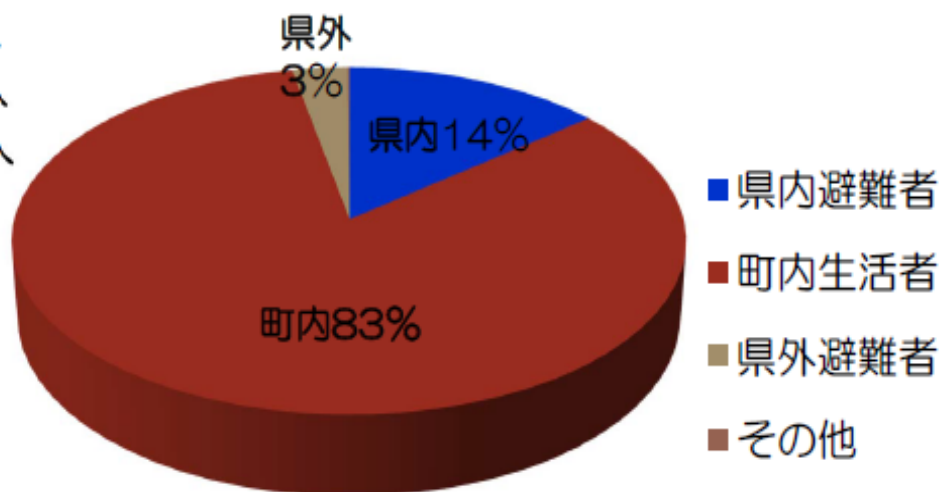
■平成23年12月末時点

- ・町内生活者 242人
- ・県内避難者 4,328人
- ・県外避難者 912人

■平成30年6月1日時点

- ・町内生活者 4,064人
- ・県内避難者 603人
(うち いわき市566人)
- ・県外避難者 158人
- ・不明 3人

現在避難者の状況



現在保健センターから見た海



広野町役場



◆ 広野駅東側開発地区の全景（平成29年6月撮影）



町内のいたるところで工事中



【子どもの歓声とともに 新たな時代を拓くまち広野】 に向けて

(第5次広野町町勢振興計画)

広野町の状況

	H30.6.1	震災前との比較
人口(人)	4,829	
居住者(人)	4,064	
帰還率	84.16%	
世帯数	2,083	
高齢化率	30.2%	

	平成29年 (未確定)	震災前との比較
出生数	23	
死亡数	67	



医療機関・保健師の状況

	内 訳	数	備考
医療機関数	医院(内・小・外・整・脳神)	1	
	病院(精神科・内科)	1	118床
保健師数		5	うち2人産育休中

死因別死亡率(平成20～24年震災死亡を除く) ()内は相双管内

区分	男 性	女 性
標準化死亡比	116.5(105.1)	105(101.7)
総死亡	134.6	108.7
心疾患	183.2	113.5
脳血管疾患	231.5	128.2
肺炎	130.7	163.3



平成25年度 お達者度

○65歳からの平均自立期間

男性	16.40	(全国17.45、福島県17.01)
女性	18.84	(全国20.55、福島県20.35)

県内ワースト1

○65歳からの不健康な期間

男性	2.35	(全国1.64、福島県1.65)
女性	3.40	(全国3.42、福島県3.44)

県内ワースト3



広野町の状況

項 目	全国平均との比較	
介護認定（要介護3～5）	↑	震災後145%の伸び
一人あたり国保医療費 県内トップ	↑	糖尿病、虚血性心疾患、 腎透析多い
メタボ・肥満・高血糖	↑	
20歳ころより10kg以上の体重増加者	43.4%	
運動習慣なし	72.2%	
睡眠不足	31.5%	

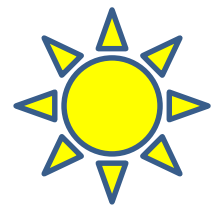


2 健康課題

- (1) 死亡、有病者、医療費から循環器疾患（心臓病、脳血管疾患）が多い..震災後運動不足、食生活の変化、ストレスが増え、脂質異常や糖異常の増加等循環器疾患発症リスクが高い状態が継続
- (2) メタボやメタボ予備群が多い。特に男性では腹囲85cm以上の人が多い
- (3) 運動習慣がない人が多い。20歳頃より体重が増加している割合が多い
- (4) コミュニティ-の再構築、住民参加型地域健康づくり活動が必要



地域での健康づくり活動が再開



○高齢者サロンを町内15か所で実施 100歳体操を週一回実施中のところも

かかりつけ
の医者は
大切だな

食事は大切。
長生きの秘
訣だね

98歳になりま
した。耳は遠
くなったけど
よく食べます



食生活改善推進委員活動



「このままじゃいけないよね。」の声



各家庭の
味噌汁塩
分測定もし
ます。



食育の
日です



私の具体的な活動内容・支援の実際

- (1) 町民の声や生活を知る、見る、触れる、聴くそして教えてもらい、一緒に学び、考える・家庭訪問、地区サロン、活動団体に出席
- (2) 保健活動の助っ人・広野町（東北、福島県、相双地域）
保健師は頑張っている
乳幼児健診、総合健診、健康づくり計画策定の支援
- (3) 新人ですから「何でもやります！」のスタンス・教えていただきながら封入作業、トイレ掃除、印刷等も
- (4) 初めての学び、経験は面白い。保健師ってやはりいいなと実感

- ① 人口規模、医療・福祉・介護の施設資源と人材（資質）による保健事業の展開方法の差異委託、自前？
- ② 保健師と住民の距離感
- ③ 行政の中での保健師の立ち位置
- ④ 「我が町の保健師は何をする人なの？」 住民はどのように見ているか



支援についての考え方

- (1) 個人や地域の気づきと力を引き出す活動が大切
- (2) 私自身は広野町保健師の伴走者であると認識。主役は、広野町保健師
- (3) 広野町保健師が働きやすい環境づくり
- (4) 福島県広野町流を作ること
- (5) 今までの経験を活かした提案型であること
- (6) 若手の職員には、いろんな背中を見せることも必要。考え方もいろいろある事を学んでほしい



3 静岡と福島両県で保健活動を経験して 平時から取り組むべき活動

- (1) 日ごろから危機管理意識を持つことと備え
- (2) 活動方針や方向性を示し、随時見直し
- (3) 情報の共有と顔の見える関係性を築く
- (4) 経験を次に引き継ぐ、人材育成

新人、中堅、管理期各期の人材育成や各市町の実情に応じた技術支援を、
今後も福島県や相双保健福祉事務所に期待します。



4 被災地での保健活動に関心のある方への メッセージ

「天の時 地の利 人の和」

- チャンスは今、今しかない
- 心配事や不安は何とかなる_(かも)
- 保健師の資格とともに生きる



ご静聴ありがとうございました。

